

放射線科

研修の概要

全身の臓器を横断的に対象とする画像診断の基本・プロセスを経験でき、また放射線治療や Interventional radiology について適応・実臨床を学ぶことで、将来的な診療における知識・技術の幅を大きく広げることができます。

習得できる知識や手技

- ・X線単純写真や CT, MRI, 核医学など、撮像法の意義・適応を理解した上で、画像所見の拾い上げ、解釈および診断、レポート作成までの画像診断のプロセスを学ぶことができます。
- ・今まで蓄積された大量の画像データから common disease から rare disease まで、全身横断的に学ぶことができます。
- ・hands-on-training として、積極的に超音波検査(腹部や甲状腺、乳腺、頸動脈や下肢静脈など)を経験できます。また血管造影や IVR の助手を経験でき、エコーガイド下穿刺(中心静脈穿刺、動脈穿刺やドレナージなど)も経験できます。
- ・放射線治療に関して、適応やインフォームドコンセント取得、患者診察や実際の治療計画を経験することができます。

週間スケジュール

個人の研修希望内容に応じて柔軟にスケジュール対応いたします！

一例		月	火	水	木	金
	午前	画像診断カンファレンス CT	透視検査	MRI	IVR	CT
	午後	各種読影	超音波	放射線治療	CT IVR 術前カンファレンス	各種読影

HP アドレス

<https://oita-radiology.jp>

連絡先(担当者)

医局長 道津 剛明(どうつ たけあき) do2take@oita-u.ac.jp

